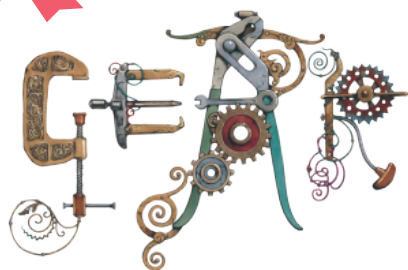


COMPLEX ENTERTAINMENT IN KYOTO

『ギア-GEAR-』

～日本発!日本初!京都で出逢える、まったく新しい感動の世界～

ART COMPLEXグループ(事業内容:劇場の運営、イベントの企画・実施など)が企画制作する演劇でもない!ミュージカルでもない!サーカスでもない!
ノンバーバルパフォーマンス『ギア-GEAR-』の最新情報です!



国内演劇史上初!小劇場ロングランという新たな発想。

日本オリジナルコンテンツで無期限ロングラン2000回突破!

今年12月、劇場型アミューズメント施設『千葉ポートシアター』のこけら落とし公演として『ギア-GEAR-』イーストバージョン上演



ART COMPLEXグループが手がける、京都で上演中の“日本発・日本初”のノンバーバルパフォーマンス『ギア-GEAR-』は、本日10月6日(金)19時公演で、公演回数2000回を達成いたしました。

日本国内では、劇団四季の「ライオンキング」など海外作品や、故・森光子氏主演舞台「放浪記」などの公演記録の事例がありますが、「日本オリジナルコンテンツ」かつ「同一会場での無期限ロングラン」での2000回達成は日本初の偉業となります。

本場ブロードウェイでも、数ある作品のうちロングランを続けられる作品はごくわずかと言われるほど。加えて、日本国内では、観劇の習慣が定着していないこともあり、優れた作品であっても、その評判が行き渡るまでに

時間を要することが多く、無期限ロングランの実施は日本では不可能とさえ言われてきました。そこで、あえて100席限定の会場で公演を行うことで、リスクを最小限にし、まずはロングランを継続すること、さらには作品をブラッシュアップすることに注力してまいりました。

おかげさまで5年半に及ぶロングランの実績が認められ、国内外のガイドブックへの掲載、また世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」をはじめ口コミでも話題に。最近では、国内で熱望されるナイトカルチャーとしての期待も集めるようになりました。

また、今年12月には初の関東進出が決定。場所は千葉に新設される劇場型アミューズメント施設『千葉ポートシアター』。その記念すべきこけら落とし公演として『ギア-GEAR-』イーストバージョンを上演いたします。

今後もさらなる改訂を重ね、より永く、皆さまに愛される作品を目指して邁進してまいります。

▶『ギア』とは?

日本発×日本初のノンバーバル(=言葉に頼らない)パフォーマンス『ギア-GEAR-』。

光や映像と連動したマイム、ブレイクダンス、マジック、ジャグリングによる迫力のパフォーマンスで感動のストーリーを描くと共にセリフを使わない“ノンバーバル”という演出により、小さなお子さまから大人まで、そして外国の方までもが、言葉の壁を越えて楽しんでいただけます。『ギア-GEAR-』は大きさや形、色の異なる歯車が噛み合い、大きなうねりを生み出す日本独特の和の文化である「調和」をテーマとし、公演を開始。2017年4月に京都ロングラン6年目に突入、同年7月には100席限定の劇場で観客動員数14万人を突破しました。

【主な実績】

- ・「第6回京都文化ベンチャーコンペティション」近畿経済産業局賞受賞
- ・「TED×Kyoto 2013」でスペシャルパフォーマンス実施
- ・「文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業」採択(2014-2016年)
- ・世界最大級旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」 エクセレンス認証を3年連続獲得(2015年・2016年・2017年)



【お問合せ】 『ギア-GEAR-』事務局 広報担当:林るみ

〒604-8082 京都市中京区弁慶石町56 1928ビル3階

TEL:075-254-6520 / FAX:075-254-6521 / MAIL:hayashi@artcomplex.net

<http://www.gear.ac>



▶グループ概要

グループ名:ART COMPLEXグループ
事業内容:コンテンツ企画、製作、劇場の運営、管理
代表者名:小原啓渡

▶代表者プロフィール

兵庫県出身、同志社大学中退。インド放浪後、照明技術者として宝塚歌劇や劇団四季、歌舞伎など、幅広い現場で実践を積む。1992年からコンテンポラリーダンスの母・Susan Buirgeのテクニカルディレクターとして7年間、パリを中心に活動。その後、京都にて近代建築を改装した劇場「ART COMPLEX 1928」を立ち上げ、プロデューサーに転向。

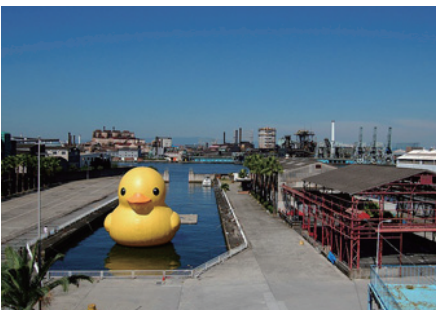


アートの複合(コンプレックス)をテーマに、劇場プロデュースの他、文化支援ファンドの設立や造船所跡地をアトスペース「クリエイティブセンター大阪」に再生するなど、芸術環境の整備に関わる活動を続ける。

他にも、文化芸術を都市の集客や活性化につなげる数々のプロジェクトを打ち出し続けている。

(プロジェクト事例)

世界を旅するアヒル、日本初上陸



「水都大阪2009」にてオランダのアーティストF・ホフマン氏の作品「ラバーダック」を大阪・中之島付近の河川に浮かべ、話題に。

ワークショップで人をつなぐ、文化をつくる



『文化は人が作る』をコンセプトに、公募により1講座500円で受講できるワークショップの見本市『DOORS』を開催。これまでに約1500講座を開講し2万人以上が参加。

文化遺産×プロジェクションマッピング



世界遺産の二条城をはじめ、知恩院三門、神子畑選鉱場跡、丸亀城、後樂園、高台寺などの歴史的文化遗产への数々のプロジェクションマッピングを手掛ける。

“Kawaii”カルチャーを世界へ



経済産業省主催のジャパンブランド支援事業「MORE THANプロジェクト」で増田セバスチャンとタッグを組み、原宿kawaiiカルチャーを世界に発信。

日本初の舞踏専用劇場をオープン



ダンス界に大きな衝撃と影響を与えたと言われる「舞踏」の専用劇場を2016年7月オープン。『ギア』に続く第2のコンテンツとして、訪日旅行者の中でも特に注目を集めている。

今までになかったライブパフォーマンス



元モーニング娘。道重さゆみの復帰公演としてコンサート・ミュージカル・ディナーショーといった枠を取り払った約80分のライブパフォーマンスの制作を手掛けた。

▶プロデューサーよりコメント

「2000回公演達成にあたり」

効率性や即効性が重視される社会にあって、『ギア』は昔気質の職人がそうであるように誠心誠意、時間をかけて創作に向き合い、作品の改訂、改良を続けてきました。

『ギア』にとって2000回公演の意味は、まさに「2000もの工程を重ねて仕上げてきた作品」であることに他なりません。

ロングランも6年目に入り、「もう何年か前に観ましたよ」と仰ってくださる方も増えてきました。そんな時私は「今の『ギア』は、もうその時の『ギア』ではありません」とお応えしています。何度もリピートしてくださるお客さまは「観るたびに進化している、それが楽しい」という感想を残してくださいませ。

どんなに小さく、目には見えないような改善であっても、必ずお客さまに伝わる、だから日々愚直に取り組み、手抜きをしない。創作者として決して忘れてはならない心得だと思っています。

今年12月、『ギア』は関東に進出します。

「多様性に内在する豊かさ」「バランスと調和」を重要なコンセプトと捉え、この世界に一つでも多くの笑顔を生み出すために、『ギア』は更に進化を続けて参ります。

2000回を支えていただいた皆さまに、心から感謝いたします。

『ギア』統括プロデューサー 小原啓渡

▶ギア公演概要

公演日時：月曜・水曜・金曜 14時／19時
土曜・日曜・祝日 12時／17時

会場：ギア専用劇場

チケット料金：一般3700円～／大学・専門学校生・60歳以上2700円～／高校生以下1700円～

チケット取り扱い：ローチケ、カンフェティ

企画制作：ART COMPLEX 主催：有限会社一九二八

協賛：リッジクリエイティブ株式会社、ギア株式会社

後援：京都市、公益社団法人京都市観光協会、京都商工会議所、

公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー、KANSAI Creative Factory 推進委員会



【お問合せ】 『ギア-GEAR-』事務局 広報担当：林るみ
〒604-8082 京都市中京区弁慶石町56 1928ビル3階

TEL:075-254-6520 / FAX:075-254-6521 / MAIL:hayashi@artcomplex.net

<http://www.gear.ac>